

千代田区教育と文化に関する大綱

今日の私たちを取り巻く環境は、人口の減少・少子高齢化の進行に加えて、情報通信技術の革新やグローバル化の進展など、めまぐるしく変化しています。

このように変化が激しく予測困難な時代においては、大人・子どもに関わらず私たち皆それぞれが主体的に考えて行動すること、多様な人々とお互いに認め合い協働すること、持続可能な社会を見据えて新しい価値を生み出す力を身に付けていくことが必要です。特に、未来を託すべき子どもたちには、多様な人々との交わりの中で、自己肯定感を高め、自らの意見を発信していくことが求められています。

江戸時代から日本の政治・経済・文化の中心として発展し、歴史と伝統に育まれてきた千代田区には、互いに支え合い尊重し合う特色ある文化が根付いています。千代田区に住み、働き、学び、集う全ての人が輝けるように、また、子どもが力強く育ち未来へ羽ばたいていけるように、私たちがこの文化を守り育てることは大変重要です。

このような考えに立って、教育施策等を立案・実施するための次の2つの方針を定めます。

この方針にのっとり、区長と教育委員会は緊密に連携・協力して、「教育と文化のまち千代田区」の実現を目指します。

1 子どもの健やかな育ちを地域全体で支えるまち

児童の権利に関する条約の精神にのっとり、千代田区の全ての子どもが誰一人取り残されることなく、将来にわたって幸福な生活を送ることができるよう、家庭・学校・園・地域等が一体となって「子どもを共に育むまち」を実現します。

また、生涯にわたる人格形成の基礎を培うために重要な乳幼児期から教育期まで、すなわち0歳から18歳までを見通した次世代育成支援及び教育施策を展開するとともに、多様なニーズへの対応や、子どもの心のケアなどに注力し、子育てや学びのセーフティネットを充実させることで、「日本一、子育てしやすいまち」を実現します。

2 伝統文化を尊重し、文化の香り溢れる美しいまち

日本や千代田区の歴史・伝統文化を学ぶことで、自分たちが住む地域に愛着や誇りをもつとともに、多様な人々と共に生きる中で他の地域の歴史や文化を理解し、あらゆる世代が文化や価値観の多様性を尊重する「心豊かな日常生活を送ることができるまち」を実現します。

また、千代田区に住み、働き、学び、集う全ての人が、あらゆる機会と場を通じて、生涯にわたり学び、交流することで、個性豊かな文化の溢れる生活環境を創造し、ふれあいの中で生き生きとした地域生活を送ることができる「文化の香り高いまち」を実現します。

令和6年3月31日

千代田区長 樋口 高顕